

SUN SUN トライ

仙台市青葉区 山家 眞さん (72)

宮城いきいき学園 2017年4月 入学生募集

- 対象 象/県内居住のおおむね60歳以上の方
- 場所 ①仙南校②大崎校③石巻校
④気仙沼・本吉校⑤登米・栗原校
- 募集人員 各校40人
- 学習日 年間22日(2学年制)
- 内容 生きがいと健康づくりを目指し、地域活動の指導者として必要な内容を身に付けます
- 募集期間 2017年2月28日(火)まで(必着)
※定員を超えた場合は各校ごとに募集を締め切り、先着順となります
- 入学金 5千円
- 受講料 年間2万円
- 申込書 各市町村の福祉担当課、生涯学習担当課、社会福祉協議会、および本会ホームページからも入手できます
※通学可能であれば、どの学校に申し込んでも結構です
- ホームページ <http://www.miyagi-sfk.net/>

申し込み・問い合わせ

宮城県社会福祉協議会 いきがい健康課
TEL022-225-8477

宮城県福祉人材センター 福祉人材無料職業紹介所

福祉の仕事を求めるあなたと
福祉の職場の懸け橋となります

問い合わせ先

ご利用時間 月～金曜、第3土曜 9:00～17:00
休日 土(第3除く)・日曜、祝日、年末年始
〒980-0014
仙台市青葉区本町3-7-4 宮城県社会福祉会館1階
TEL022-262-9777 FAX022-261-9555

福祉のお仕事

FUKUSHI-JOB SEARCH

幅広い世代と交流 コンニャクの知識伝え



仙台市出身。大和町にある自家畑でコンニャクイモを中心に枝豆や食用菊などを栽培している。県内各地でコンニャクイモの栽培法とこんにゃくの作り方の講座を開催。趣味は囲碁とカラオケ、旅行。退職後は妻や友人と北海道から沖縄まで国内各地を旅行した。長女と次女は独立し、4人の孫がいる。現在は妻と2人暮らし。

現役時代の11年間、宮城県農業改良普及センターに勤務してました。私は農業普及員としてイネとコンニャクイモを担当。農家を回って栽培技術を指導するのが仕事でした。

2003年に退職した後、料理を楽しみながら食生活の向上を目指す「仙台男子厨房に入ろう会」に入会。会員から



こんにゃくの味噌田楽は絶品

「こんにゃくイモがあるが、こんにゃくの作り方が分からない」と相談を受け、ノウハウを知っていた私が教えました。これをきっかけに、会員向けにこんにゃく作りの講座を不定期で開くようになりました。

講座を重ねるうちに、プロとして宮城の食の魅力伝える「伝える人にならなかつたら」と県産



コンニャクイモのもとになる種芋

業振興課から声が掛かりました。昔は宮城を代表する作物だったコンニャクイモの栽培法とこんにゃくの作り方を教えました。一通りの作業を終えると、受講した会員から「こんなに簡単にできるのか」といった驚きの声が上がりました。

講座に使うコンニャクイモは自家栽培しています。5月下旬に種芋を植え、10月下旬に収穫します。会員から「ぜひ自分でも育ててみたいので、種芋を分けてほしい」との相談もありました。湿気さえ避ければ手軽に栽培できるので、自分で育てたコンニャクイモでこんにゃくを作ります。

SUNクラブ会員向けの講座は定員30人以上で80人以上の応募がありました。また機会があれば開催したいです。これにきつかけに私も入会しました。まだ会員としての活動はできていませんが、サトイモの収穫体験など魅力的な講座がたくさん開かれているので、近いうちに参加しようと思いま

会員向けに講座開く

今年1月と6月に、いきいきSUNクラブ会員向けに講座を開きました。以前の講座にたまたまSUNクラブ会員が参加していて、講座を開いてほしいと頼まれたのがきっかけです。

イモも最近では生産者が減り、栽培法やこんにゃくの作り方を知る人が少なくなっています。少しでもコンニャクイモを普及できればと伝え人として活動を始めました。小学生や主婦などさまざまな世代に知識を伝えていきます。



いきいきSUNクラブの講座に参加し、笑顔でこんにゃくを作る会員ら